

命の大切さ訴える遺品

橿原の運転免許センターで展示

犯罪や交通事故などで亡くなった犠牲者の等身大パネルを展示し、命の大切さを伝える「生命のメッセージ展」が、橿原市の運転免許センターで開かれている。28日まで。

運転免許センターで開かれている「生命のメッセージ展」(県警提供)



会場には交通事故で亡くなった計20人の等身大パネルと靴を展示。このうち3人は、京都府亀岡市で平成24年、無免許の少年の車が集団登校中の児童らの列に突っ込み、児童ら10人が死

傷した事故の犠牲者。

交通事故で長男の健仁さ

ん(当時18)を亡くし、

犯罪被害者支援や事故防止

活動に取り組むNPO法人

「KENTO」代表の児島

早苗さん(71)は「運転に慣

れている人も展示を見て、

ハンドルを握る際の意識を

リセットしてほしい」と話した。

メッセージ展が運転免許

センターで開催されるのは

初めて。企画した県警は、

「免許更新の際に改めて交

通事故防止への意識を持つ

てもらいたい」としてい